

『文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要』 総目次

第1巻 (1995年3月)

- 和田 英夫 (学長) 創刊に寄せて 1
 安澤 秀一 (学部長) 巻頭言「文化情報学」構築への提言 3-5

論文

- 広瀬 順皓 幕末維新期における錦絵類の基礎的研究 - 錦絵データベース化への試み - 7-21
 金 容媛 European Union (欧州連合) の情報インフラストラクチャー
 - 情報政策遂行のメカニズムと情報システム - 23-38
 門馬 幸夫 文化におけるイデオロギーとプラクティス 39-47

TAKAHASHI, Toyomi

- Aspects of the Theory of Phonological Licensing and Elements (1) 49-63

NEWMAN, Wayne Edward; NEWMAN, Kumiko Tsukane

- Cross-Cultural Analysis of Complaint Japanese and American 65-79

- 塚本美恵子 異文化理解教育としての短期留学 - 異文化理解のプロセスと教育効果 81-95

資料

- 西岡 久雄 「日本ホスピタリティ研究会」について 97-102
 戸田 光昭 図書館学教育のための演習問題作成の試み(1)
 - 『逐次刊行物』(JLA 図書館選書5) のための設問と解答の例示(1)- 103-107

第2巻 (1995年12月)

論文

- NEWMAN, Wayne Edward ; NEWMAN, Kumiko Tsukane
 Pronunciation : To Teach or Not to Teach 1-8

TAKAHASHI, Toyomi

- Aspects of the Theory of Phonological Licensing and Elements (2) 9-27

- 門馬 幸夫 恫喝と救済 - 「救済」のメタファとその論理的構造 - 29-36

岡部 建次・広瀬 順皓

- 個人文書目録データベースの作成 - 谷干城関係文書 - 37-43

研究ノート

- 西岡 久雄 市場空間における独占と競争 45-52

- 野村 文保 コンピュータファイルの書誌記述 - AACR2 を中心にして - 53-65

- 寺村由比子 擬似紙に関する一考察 67-79

資料

- 戸田 光昭 図書館学教育のための演習問題作成の試み (2)
 - 『逐次刊行物』(JLA 図書館員選書5) のための設問と解答の例示(2)- 81-84

- 1994年度研究会報告概要 85-87

- 1994年度研究業績一覧 89-96

第3巻第1号 (1996年6月)

論文

岡部 建次・広瀬 順皓

公文別録データベースの作成 1-6

加藤 修子 図書館のサウンドスケープ・デザイン-公立図書館の音環境調査の報告- 7-23

金 容媛 韓国における図書館情報政策-法的側面を中心として- 25-45

杜 正文 情報とマルチメディア 47-56

TAKAHASHI, Toyomi

Revised Syllabification Principles for the Longman Pronunciation Dictionary 57-65

研究ノート

杉本由利子 1980年代のフランス図書館ネットワークの展開についての研究ノート 67-80

西岡 久雄 バトラーとティスデルの観光地域論 81-89

資料

戸田 光昭 図書館学教育のための演習問題作成の試み(3)-「蔵書構築論」のための演習問題- 91-94

林 瑞枝 フランスの1993年国籍法改正の適用状況-1994年度の国籍取得者統計- 95-102

1995年度研究会報告概要 103-105

1995年度研究業績一覧 107-115

第3巻第2号 (1996年12月)

論文

OHASHI, Taiji

Implications for Sustainable Tourism Development
- With a Special Reference to Indonesia 117-123

岡部建次・五島敏芳・広瀬順皓

明治政治史料デジタルライブラリシステムの作成と研究 125-129

加藤 修子 図書館におけるサウンドスケープ・デザイン-図書館利用者を対象とした音環境調査の報告- 131-146

岸田 和明 計量書誌学的法則に関するモデルと理論 147-166

國分 信 わが国諸大学における「情報」教育(1)
-「情報」関係学部・学科の名称の整理と分析- 167-185

三輪 玲子・中敷領孝能

ドイツ語教育におけるマルチメディア教材利用 187-207

研究ノート

西岡 久雄 持続可能な環境と観光開発 209-218

資料

戸田 光昭 図書館学教育のための演習問題作成の試み(4)-「情報サービス論」の演習問題- 219-221

林 瑞枝 フランスにおける帰化の推移-18世紀末から20世紀末まで- 223-237

第4巻第1号 (1997年6月)

論文

- 岩熊 史朗 パーソナリティの主観的構成 1-14
- 大橋 泰二 ベトナム観光開発の課題と展望 15-21
- 金 容媛 図書館情報政策における諮問機関の役割に関する研究 23-33
- 國分 信 わが国諸大学における「情報」教育(Ⅱ)
-短大・高専「情報」関係学科の名称の整理と分析- 35-56
- 祁 放 中国二十年代女性作家の困惑 57-73
- 塚本美恵子 心情理解をうながす異文化理解教育の実践-映画を利用した授業- 75-87
- 寺村由比子 投稿規程の比較分析による学会誌の分野別特徴(Ⅰ) 89-100
- 西岡 久雄 長期滞在旅行と立地的予算包絡線-無差別曲線・予算線・包絡線の適用- 101-106

資料

- 戸田 光昭 生涯学習時代の図書館における児童サービス-その歴史と現状と展望- 107-115
- 1996年度研究業績一覧 117-128

第4巻第2号 (1997年12月)

論文

- 寺村由比子 投稿規程の比較分析による学会誌の分野別特徴(Ⅱ) 129-146
- 林 初梅・広瀬 順皓
台湾総督府における文書管理制度の成立と展開
-『台湾総督府公文類纂』を例として- 147-173
- 三輪 玲子 上演批評に見るホルヴァート民衆劇の受容(Ⅰ)
-『カージミルとカロリーネ』の初演分析- 175-183
- 杜 正文 情報検索のためのサーチエンジン活用法 185-192

資料

- 戸田 光昭 生涯学習時代における専門図書館の役割 193-198

書評

- 國分 信 ヘイウッド, トレポー著 岡澤和世訳 インフォ・リッチ: インフォ・プア
-情報社会のグローバリゼーション- 199-206

第5巻第1号 (1998年6月)

論文

- 岩熊 史朗 “意味”としてのパーソナリティ 1-14
- 塚本美恵子 異文化体験のインパクト
-第2次大戦前後における日系二世の異文化体験とその「語られ方」- 15-50

研究ノート

- 戸田 光昭 情報活用能力を高めるための基盤としての、大学における情報リテラシー教育 (その1)
-文献情報利用教育の概要と実践事例の紹介- 51-60
- 西岡 久雄 観光の経済地理学および経済学 61-68

林 瑞枝	フランスにおけるイスラームの地位－マグレブとの関連で－	69－84
	1997年度研究業績一覧	85－99

第5巻第2号（1998年12月）

論文		
枝川 明敬	文化施設整備課程における文化指標の研究	1－9
加藤 修子	都道府県立図書館の音環境の現状と音環境に対する意識 －図書館におけるサウンドスケープ・デザイン－	11－26
村越 一哲	情報としての記録－定義と考察－	27－36
研究ノート		
戸田 光昭	情報活用能力を高めるための基盤としての、大学における情報リテラシー教育（その2） －オリエンテーション科目としての「資料検索法」－	37－42
書評		
青木 栄一	田中真人・宇田正・西藤二郎共著：『京都滋賀 鉄道の歴史』	43－47

第6巻第1号（1999年6月）

論文		
加藤 修子	音楽・音の文化遺産（文化情報資源）の構築（その1） －音楽・音を後世に伝える方法の体系化－	1－13
金 容媛	英国における文化情報資源政策－制度改革および組織改編を中心に－	15－31
塚本美恵子	公立小学校への英語教育導入の問題と課題－国際理解教育実践のために－	33－47
研究ノート		
戸田 光昭	情報活用能力を高めるための基盤としての、大学における情報リテラシー教育（その3） －オリエンテーション科目としての「論文執筆法」－	49－58
西岡 久雄	ホスピタリティ，ノーマライゼーション，宗教多元主義について(I) －特に日本の宗教的・倫理的風土－	59－77
	1998年度研究業績一覧	79－87

第6巻第2号（1999年12月）

論文		
岩熊 史朗	自己と意味	1－14
枝川 明敬	文化施設（公立文化会館）の施設状況及びその活動に関する調査研究	15－22
加藤 修子	音楽・音の文化遺産（文化情報資源）の構築（その2） －歴史的な音楽・音を再現する方法の体系化：歴史的な録音からの再現－	23－33
三輪 玲子	ドイツ世界演劇祭の動向－ベルリン開催「テアター・デア・ヴェルト」から－	35－43
研究ノート		
金 容媛	シンガポールにおける情報資源政策	45－56
戸田 光昭	索引の研究(1)－出版物索引あるいは索引出版物を考える（その1）－	57－61
西岡 久雄	ホスピタリティ，ノーマライゼーション，宗教多元主義について(II) －特に日本社会の支配原理－	63－72

第7巻第1号 (2000年6月)

論文

- 金 容媛 韓国における国家情報化政策の現況 1-14
杉本由利子 電子情報システムに関する情報探索行動研究へのアプローチ 15-23
三輪 玲子 上演批評に見るホルヴァート民衆劇の受容(2)
-『カージミルとカロリーネ』のオーストリア初演- 25-33

研究ノート

- 杜 正文 台湾の情報通信インフラと情報政策 35-41
戸田 光昭 索引の研究 (2) - 出版物索引あるいは索引出版物を考える (その2) - 43-50
西岡 久雄 ホスピタリティ, ノーマライゼーション, 宗教多元主義について(Ⅲ)
-特にカルヴィニズムの預定説, 資本主義, マックス・ウェーバー- 51-68
林 瑞枝 フランスにおける外国人参政権問題 69-83
1999年度研究業績一覧 85-94

第7巻第2号 (2000年12月)

論文

- 岩熊 史朗 “特性”の心理学的構築 1-14
加藤 修子 音楽・音の文化遺産(文化情報資源)の構築(その3)
-歴史的な音楽・音を再現する方法の体系化:古楽における再現- 15-28

研究ノート

- 杜 正文 中国の通信情報インフラと情報政策 29-34
戸田 光昭 索引の研究(3) - 出版物索引あるいは索引出版物を考える(その3) - 35-41
西岡 久雄 ホスピタリティ, ノーマライゼーション, 宗教多元主義について(Ⅳ)
-自己実現の心理学, 多文化主義, 文明の衝突論- 43-67

第8巻第1号 (2001年6月)

論文

- OHASHI, Taiji
Tourism Research and Education in Japan :
Emerging Trends, Challenge and Issues 1-5
金 容媛 図書館情報サービス分野における国際協力 7-23

研究ノート

- 戸田 光昭 索引の研究(4)-子どもの本の索引を考える 25-30

書評

- 國分 信 Gitler, Robert & Buckland, Michael ed. Robert Gitler and the Japan Library School :
An Autobiographical Narrative 31-47

- 2000年度研究業績一覧 49-58

第8巻第2号 (2001年12月, 西岡久雄教授退職記念号)

[巻頭写真]

戸田 光昭	謝辞	1
-------	----	---

特別寄稿

西岡 久雄	「ホスピタリティ, ノーマライゼーション, 宗教多元主義について (V)」 および「研究回顧録」	3-33
-------	---	------

論文

青木 栄一	鉄道忌避伝説に対する疑問 - 補論 -	35-44
岩熊 史朗	意味の構造	45-58
岡部 建次・広瀬 順皓	lwebを1データレコードとするインターネット上の古文書 web データベースシステムの作成	59-66
内藤 嘉昭	観光開発の理論的系譜と再検討(1)	67-80

研究ノート

戸田 光昭	索引の研究(5)-観光情報資源としての旅行ガイドブックと索引 (その1)-	81-86
西野 泰司	テレビ初期の番組はなぜ残っていないのか-メディアの成熟と文化-	87-92
西岡久雄教授略歴		93-100

第9巻第1号 (2002年6月)

論文

加藤 修子	博物館における音の展示と音による環境づくり: 文化情報施設の サウンドスケープ・デザインの展開	1-13
内藤 嘉昭	観光開発の理論的系譜と再検討(2)	15-28

研究ノート

青木 栄一	3フィート6インチ・ゲージ採用についてのノート	29-39
枝川 明敬	我が国における文化財保護の史的展開 - とくに戦前における考察 -	41-47
戸田 光昭	索引の研究(6)-観光情報資源としての旅行ガイドブックと索引 (その2)-	49-55
2001年度研究業績一覧		57-66

第9巻第2号 (2002年12月, 安澤秀一教授・手塚映男教授退職記念号)

戸田 光昭	序文	1
-------	----	---

[巻頭写真]

特別寄稿

安澤 秀一	「文化情報学」構築への提言再説	3-5
手塚 映男	自然史博物館と科学教育活動 - 博物館とともに50年 -	7-18

論文

岩熊 史朗	同一性について	19-32
SAWAZAKI, Renée A.	Extensive Reading Programs : Views from the Research, the Teacher and the Students	33-45

塚本美恵子	コミュニティ放送への市民参加 －コミュニティ放送局の現状とエフエム入間の事例から－	47-63
-------	--	-------

研究ノート

櫻井 千絵	龍と『指輪』－ワーグナー『指輪』四部作におけるゲルマン民俗考－	65-70
戸村 栄子	デジタル時代の映像アーカイブ－NHKの映像アーカイブを中心として－	71-77
研究活動履歴	安澤秀一	79-88
手塚映男	略歴 [研究業績]	89-92

第10巻第1号 (2003年6月, 西野泰司教授追悼号)

[巻頭写真]

戸田 光昭	故西野泰司教授への追悼の辞	1
広瀬 順皓	追悼西野泰司先生	2-4
西野泰司教授の略歴ならびに研究業績		5-6

論文

金 容媛	情報政策の枠組みに関する理論的考察	7-27
加藤 修子	博物館における「音の展示」と「音による環境づくり」: 全体報告と館種別比較分析およびレベル別分析	29-54
櫻井 千絵	ラルフ・イーザウ 『盗まれた記憶の博物館』について	55-60

研究ノート

戸田 光昭	索引の研究(7)－観光情報資源としての旅行ガイドブックと索引 (その3)－	61-70
2002年度研究業績一覧		71-83

第10巻第2号 (2003年12月, 國分信教授退職記念号 文化情報学部創設10周年記念号)

[巻頭写真]

戸田 光昭	謝辞	1
-------	----	---

特別寄稿

國分 信	青年司書から高齢教授までの遍歴－意欲と努力に運加わって開く扉－	3-7
------	---------------------------------	-----

論文

岡部 建次・井上 貴司	製造業生産管理手法の他業種への技術移転の研究－鶏孵化場への技術移転－	9-16
加藤 修子	博物館の「音をテーマとした展示」における展示方法の分析	17-31
塚本美恵子	映像化時代に求められる教育の役割－多様化を目指すメディア教育実践の試み－	33-42
櫻井 千絵	ラルフ・イーザウ 『影絵ネット』について	43-49

研究ノート

HIROSE Yoshihiro	Selected Translations of Yamagata Aritomo's (IKENSHO) [意見書 Position Papers] Part 1: Yamagata Aritomo's SEIBAN IKEN [征蕃意見] (Opinion on the Taiwan Expedition)	51-62
SAWAZAKI, Renée A.	Introducing the Novel in an Extensive Reading Program	63-70

杜 正文	カリフォルニア・デービスでの在外研究(1)－在外研究経過報告－	71－74
文化情報学部 10周年に当たって		
原田 三朗	文化情報学部の創世記	75－88
戸田 光昭	日本初の文化情報学部－なぜ私はこの学部で働くようになったのか－	89－90
大木昭一郎	文化情報学部における私の10年	91－94
小林 侅史	インテリジェント・キャンパス事始め	95－100
青木栄一作製	文化情報学部10年間の記録 (専任教員一覧・教員別担当授業一覧・専任教員に対する研究支援)	101－115
資料：文化情報学部設立の趣旨		116－120
資料：『文化情報学部』は情報を資源と捉えた新しい情報学を学ぶ場です。		121－123
『文化情報学』－駿河台大学文化情報学部紀要－総目次		125－131
『文化情報学』著者別索引		132－137
國分信教授の経歴ならびに研究業績		139－141

第11巻第1号(2004年6月)

論文		
村越 一哲	明治後期における死産統計の信頼性と死産率の推計	1－13
塚本美恵子	大学生のメディア利用状況と情報行動 －2003年度入学生を対象に行った時系列調査から－	15－28
保坂 裕興	アーカイブズ学教育の指針に関する基礎的考察	29－38
研究ノート		
戸田 光昭	索引の研究(8)－大宅壮一文庫の索引(その1)－	39－44
	2003年度研究業績一覧	45－54

第11巻第2号(2004年12月, 大木昭一郎教授・大橋泰二教授・青木栄一教授退職記念号)

巻頭写真		
広瀬 順皓	大木昭一郎教授・大橋泰二教授・青木栄一教授退職記念号に寄せて	1
特別寄稿		
大木昭一郎	ミュンヘンのスポーツクラブと英国庭園	3－6
青木 栄一	青木栄一所蔵 鉄道史関連雑誌論文目録	7－47
論文		
枝川 明敬	地域における音楽活動状況と在り方に関する研究	49－58
研究ノート		
金 容媛	国際レベルの学校図書館政策 －国際機関の学校図書館関連の政策ドキュメントを中心に－	59－68
岡部 建次	表計算ソフトによるマルチエージェント・ビジュアル・シミュレーションの エージェント行動表現手法	69－81
資料		
金 容媛	在外研究経過報告	83－88

大木昭一郎教授の略歴ならびに主要著作業績	89 - 90
大橋泰二教授の略歴ならびに主要著作業績	91 - 93
青木栄一教授の略歴	95 - 97
青木 栄一 著作目録 (1996 ~ 2004 年)	98 - 112

第 12 卷第 1 号 (2005 年 6 月)

論文

石田 栄美	日本十進分類法と基本件名標目の相互マッピングの試み	1 - 11
村越 一哲	農村保健衛生実地調査の計画過程 - 部会と各部聯合主査会の役割を中心として -	13 - 26

研究ノート

戸田 光昭	索引の研究(9)-大宅壮一文庫の索引 (その 2) -	27 - 33
	2004 年度研究業績一覧	35 - 44

第 12 卷第 2 号 (2005 年 12 月, 原田三朗教授退職記念号)

巻頭写真

広瀬 順皓	原田三朗先生を送る	1
-------	-----------	---

特別寄稿

原田 三朗	メディア倫理を考える	3 - 24
-------	------------	--------

論文

枝川 明敬	地方分権から見た地域活性化文化活動の調査研究	25 - 32
桂 正淑	日本における韓国語学習・教育の問題点 - 韓国語テキストの比較 -	33 - 45

研究ノート

天野 宏司	自転車と観光の親和性に関する研究 - 南三陸サイクルロード「りくぜんたかた」を事例に -	47 - 67
内藤 嘉昭	日本人海外旅行をめぐる現状と展望	69 - 74
	原田三朗教授の経歴ならびに研究業績	75 - 89

第 13 卷第 1 号 (2006 年 6 月)

論文

大久保恒治	ET パートナープログラムと情報基礎教育	1 - 14
-------	----------------------	--------

研究ノート

金 容媛	韓国における知識情報資源管理の政策と現況	15 - 32
岡部 建次	介護病棟に入院している高齢者の被る看護時に起こる医療ミスの 予防に役立つ情報システム (患者個人用情報システム) の作成研究: その 1 医療情報システムの分野の概観	33 - 37

翻訳

ピアス, ダグラス	内藤嘉昭訳 観光, 開発と観光開発	39 - 52
-----------	----------------------	---------

第13巻第2号(2006年12月, 戸田光昭教授・柴山森二郎教授退職記念号)

巻頭写真

波多野宏之 謝辞 1

特別寄稿

戸田 光昭 情報活用教育(情報リテラシー教育)の事例と今後の展開
-文化情報学部におけるオリエンテーション科目の周辺- 3-13

柴山森二郎 専門英語の教育とコーパスの利用 15-20

論文

栗原 優 理想の外国語(英語)教育を目指して-異文化教育の盲点- 21-28

久我 晃広 ホッケーのプッシュストロークにおけるスティックの角度とボールの方向 29-36

天野 宏司 沖縄における郵便線路の展開と変遷-近代日本のネットワーク形成- 37-55

枝川 明敬 文化芸術政策の評価に関する一考察 57-68

杉村 晃一 放送の再送信とその権利処理に関する一考察 69-88

翻訳

ピアス, ダグラス 内藤嘉昭訳
観光開発の要素、主体背景 89-105

戸田光昭教授の略歴ならびに主要研究執筆業績 107-110

柴山森二郎教授の略歴ならびに主要研究執筆業績 111-112

第14巻第1号(2007年6月)

論文

國分 俊宏 字義的意味と推論-関連性理論をめぐって- 1-18

杉江 典子 病院情報に関するレファレンスブックの出版傾向と「病院ランキング本」の評価 19-29

大久保博樹 映像作品における音響情報と演出 31-38

研究ノート

栗原 優 新聞記事に見られる「書き言葉」と「話し言葉(口語)」の混同についての一考察 39-43

翻訳

ブリジ, ハーム・ドゥ 内藤嘉昭訳
なぜ地理学が重要か-アメリカが直面する三つの課題:
気候変化, 中国の台頭, 世界的なテロ活動 45-62

第14巻第2号(2007年12月)

論文

岩熊 史朗 パーソナリティと同一性 1-15

Sawazaki, Renée A.
An Analysis of Three Pilot Shared Reading Programs 17-33

研究ノート

- 金 容媛 主要国の司書養成教育および資格・司書職制度の現況－韓国、米国、英国を中心に－ 35－45

翻訳

- ブリジ, ハーム・ドゥ 内藤嘉昭訳
なぜ地理学が重要か－地図読みと脅威への直面－ 47－64

第15巻第1号(2008年6月)

論文

- 枝川 明敬 地域文化活動の効果と今後の文化活動の在り方 1－10

研究ノート

- 加藤 修子 博物館のサウンドスケープ・デザイン：ベネッセアートサイト直島：ケーススタディ(1) 11－21

- 塚本美恵子 デジタル映像・音響情報の活用と発信
－情報配信と学生のスキル向上のための実践教育の試み(第一次経過報告)－ 23－30

- 杜 正文 ポッドキャストの教育利用－平成19年度学内共同研究中間報告(1)－ 31－38

翻訳

- ブリジ, ハーム・ドゥ 内藤嘉昭訳
なぜ地理学が重要か－変わりやすい地球環境－ 39－51

- 2007年度研究業績一覧 53－61

第15巻第2号(2008年12月, 鳥居壮行教授・中川徹教授退職記念)

[巻頭写真]

- 金 容媛 謝辞 1

特別寄稿

- 鳥居 壮行 システム監査研究の黎明期 3－25

論文

- 大久保博樹 Podcast制作における音声伝達の最適化への試み 27－36

研究ノート

- 金 容媛 米国の図書館・博物館政策の動向－関連法規および政策諮問機構の統合を中心に－ 37－45

- 加藤 修子 博物館のサウンドスケープ・デザイン：中村キース・ヘリング美術館：
ケーススタディ(2) 47－56

- 鳥居壮行教授 経歴および研究業績 57－60

- 中川徹教授 経歴および研究業績 61－63

第16巻第1号(2009年6月)

論文		
加藤 修子	博物館のサウンドスケープ・デザイン 博物館の立地環境と展示の関係： 「十和田市現代美術館」と「青森県立美術館」を中心に	1-13
塚本美恵子・大久保博樹・國分俊宏・杜正文・寺嶋秀美・野村正弘	デジタル映像・音響情報の活用と発信－情報配信と学生のスキル向上のための 実践教育－(最終報告)	15-31
研究ノート		
金 容媛	図書館・文書館・博物館における連携の動向	33-43
金 容媛	透明性、グッド・ガバナンス、政治腐敗からの自由に関する国際図書館連盟の 宣言(2008年12月22日IFLA発表)	45-47
2008年度研究業績一覧		49-53

第16巻第2号(2009年12月)

論文		
加藤 修子	博物館のサウンドスケープ・デザインにおける「音声ガイド」の考察	1-19
野村正弘・早川由紀夫・中川忠直・白石行広・宇梶勝雄	携帯電話で使うインタラクティブ野外観察ガイドの開発(中間報告)	21-34
天野 宏司	スポーツイベントの創出と観光振興に関する研究 －スポニチ佐渡ロングライド210を事例に－	35-52
石田栄美；Cheng, An-Shu；Oard, Douglas W.；Fleischmann, Kenneth R.	人の価値観を表すカテゴリを対象にした複数カテゴリへの自動分類の試み	53-68
研究ノート		
加藤 修子	博物館のサウンドスケープ・デザイン：瀧廉太郎記念館：ケーススタディ(3)	69-76
間島 貞幸	大学における映像制作実習とメディア・リテラシー教育の実践 －入間活性化プロジェクト「発見!駿大いるプロ情報局」活動報告－	77-84

第17巻第1号(2010年6月)

論文		
塚本美恵子・五嶋正治・岡田真弓・田中真奈美	映像教材(アニメーション)を子どもたちはどう見ているのか －フォーマティブ・リサーチによる日米小学生比較－	1-12
大久保博樹・野村正弘・斎賀和彦	デジタル情報時代における職人技能による音響効果に関する考察 －シンポジウムの報告と今後の課題－	13-24
枝川 明敬	我が国の文化芸術活動の状況に関する研究 －特に活動経費からみたアマチュア活動の内容－	25-34
研究ノート		
金 容媛	図書館・アーカイブズ分野の主要国際機構とその情報源(1)	35-50

間島 貞幸	大学における映像制作の教育的価値 －新体制2年目を迎えた「いるプロ」とゼミの実践報告 その成果と課題－	51－58
2009年度研究業績一覧		59－67

第17巻第2号（2010年12月）

論文

塚本美恵子	アメリカの小学生は日本語版アニメをどう視聴したのか －注視度と質問紙調査の回答から－	1－11
-------	---	------

村越 一哲	徳川武士の人口再生産研究－課題と仮説の提示－	13－29
-------	------------------------	-------

研究ノート

金 容媛	図書館・アーカイブズ分野の主要国際機構とその情報源(II)	31－42
------	-------------------------------	-------

城井 光広	ラグーナ蒲郡における、イルミネーション関連の冬期イベント展覧会・「ラグナート」に参加しての活動報告	43－51
-------	---	-------

寺嶋 秀美	教育支援ツールとしての Moodle の使用について －システム構築と使用結果－	53－61
-------	---	-------

野村正弘・大久保博樹	「波ざる」の復刻と職人技を取り巻く現状	63－70
------------	---------------------	-------

資料

高橋 豊美	オンキャンパス・インターンシップと就業力 －「大学生の就業力育成支援事業」における取組の概要－	71－77
-------	--	-------

第18巻第1号（2011年6月）

論文

村越 一哲	徳島藩「無足」の出生力分析	1－16
-------	---------------	------

研究ノート

瀬戸 純一	新聞の将来	17－31
-------	-------	-------

野村 正弘・想田 充	大学院修士課程からの学芸員資格取得－本学での事例と改善案－	33－38
------------	-------------------------------	-------

間島 貞幸	映像制作がもたらす能力開発－NHK BS番組「@キャンパス」制作報告－	39－46
2010年度研究業績一覧		47－53

第18巻第2号（2011年12月、文化情報学部終了記念号）

論文

天野 宏司	世界の中心で愛をさけびつづけられるか？ －メディアツーリズムと持続的利用に関する検討－	1－15
-------	--	------

研究ノート

加藤 修子	博物館のサウンドスケープ・デザイン： 21_21 DESIGN SIGHT「bones 骨」展：ケーススタディ(4)	17－28
-------	---	-------

丸山 裕孝	任意のインスタンスに描画機能を実装する“JustPad”クラスの開発	29－47
-------	------------------------------------	-------

大久保恒治	「筏流し」からみた文化情報学－アナログとデジタルの融合－	49－59
文化情報学部終了にあたって		
原田 三朗	文化情報学部の設立理念とその後の学部教育	61－68
金 容媛	知識情報学科 知識コミュニケーションコース（1994-2005）、メディア情報学科 図書館情報メディアコース（2006-2011）を中心に	69－77
波多野宏之	文化情報学部におけるアーカイブズ分野の専攻科目	79－81
今村 庸一	文化情報学部の変遷と映像関連科目	83－92
福永 昭	文化情報学科 観光情報コース～観光サービスコースを中心に	93－94
小林 侅史	文化情報学部の情報教育を担って	95－100
野村 正弘	文化情報学部と学芸員課程	101－104
文化情報学部関連略年表		105－106
『文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要』総目次		107－120
『文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要』総目次 著者索引		121－123
巻末写真		